

2024年度 メリー★ポピンズ 赤羽ルーム 事業計画書

1. 基本方針

メリー★ポピンズ 赤羽ルームがある東京都北区は昨年度には待機児童がなくなり、認可保育園でも定員割れを起こしている園が出てきている。

認証保育園もどんどん姿を消して待機児童解消の役割を果たしたかにも見えるが、待機児童のためだけではない役割もあり、様々な理由で保育を必要としている家庭のためにも認証保育園の存在意義は十分にある。

2024年度は認証保育園の役割も含め、メリー★ポピンズ 赤羽ルームの保育を地域の方に知ってもらう機会をたくさん作り、地域の子どもを地域の手で共に育てる環境を目指し日々の保育を実践していく。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	生活力の体得
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から関わろうとする力を育む（見る、触れる、探索するなど） ・個を見て支援し、身の回りのことに興味を持ち、できる力を伸ばしていく ・好きなもの、好きなことを自分で見つけられる環境を整える ・移動保育の時間を有効活用し、自園では難しい体験の機会をたくさん作る ・友だちや保育者と関わる中で自分の感情を安心して表現したり相手の気持ちを感じたりできるよう応答的な関わりや落ち着いた雰囲気作りを行っていく
2	計画・ねらい	10の姿の体得（幼児期に向けて）
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な初めての経験を大切に丁寧に見ていく ・見たこと、感じたことなどの五感に共感し言葉をのせていく ・人との関わりが十分もてるように地域資源を有効活用する
3	計画・ねらい	子ども自らがいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が子どもたちの将来を見据え、月齢や発達に適した活動の計画、実施を行っていく ・子どもたちの主体性を念頭に逆算した保育を行う中で適切な距離感で子どもたちを見守っていく。人的、物的環境を整え、子どもたちが自信や期待感をもって遊びや活動の選択ができるよう努める
4	計画・ねらい	一人ひとりの成長や欲求に寄り添い安定した生活リズムの確立を図る。くつろぎ安心できる時間・空間・関わりが保障されることを大切にしている
	実践予定内容	『動』と『静』のバランスを考慮し定期的な保育環境の設定を行う。日々子ども的心情・意欲・態度を受け止めながら試行錯誤しながら一人ひとりと向き合っていく

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	信頼できる安心・安全な保育
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の保育内容や活動の目的、職員の関り等を丁寧に伝えることで、信頼関係を築いていく（タイムライン、ドキュメンテーションなどの活用） ・連絡帳や対話の中から心情を拾い、寄り添っていくことで気兼ねなく相談し合える関係性を築いていく ・運営委員会などで提案いただいた事柄は迅速に対応し、進捗状況や結果を丁寧に伝えていく
2	計画・ねらい	心のこもった接遇
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣い、文章表現等の園内研修を行い、気持ちの良い対応を全職員が行えるようにしていく ・施設の手入れを日々行い、整理整頓された清潔な環境を常態化し、だれがいつ訪れても気持ちの良い環境にする
3	計画・ねらい	保護者同士の交流の場を設け、共感、共有できる横の関係を作る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会等、保護者同士が対話できる機会を多く取り、関係性を深められるようにサポートしていく

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	園で行っているイベントの情報や認証保育園の役割を発信し、多くの方に利用してもらう
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンや青空保育の内容を充実させ、子育てを楽しむ場を提供する ・地域施設へのお便り設置やイベント時のお便り配布を継続し、認証園の紹介も織り交ぜていく
2	計画・ねらい	地域の子育て相談の場としての役割を全うし開かれた施設になる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から地域の親子連れに積極的に声をかけ、気兼ねなく相談できる場にしていく ・園庭開放の仕組みがあること、いつでも遊びに来られる場所であると都度宣伝する

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	職員自身の生活力を向上させる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強み・弱みを理解し、チームの中で自己発揮できる力をつける ・必要な研修に積極的に参加し、スキルを磨いていく
2	計画・ねらい	子どもの発達を捉えた活動計画や環境を整える力をつける
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって望ましい環境や活動を発達から捉え、計画に反映させ実践していく

3	計画・ねらい	自ら積極的に学びたい意欲の向上心を持ち一人ひとりが高い意識で保育を行う
	実践予定内容	学びたい分野を選択し、園長大学®を活用。保育実践やスタッフ間でアウトプットする力を身につける

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	給食残渣を減らす
	実践予定内容	・給食残渣を利用したコンポストを作り、畑やプランターの肥料として活用する ・出汁がらをみそ汁の具やふりかけに再利用する

〈6〉地域を巻き込んだ子育て（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	どろんこサポーターズの活動の継続
	実践予定内容	・昨年度立ち上げたどろんこサポーターズの活動を継続し、園の行事などに関わってもらえる機会を通じて、共に子どもたちを育てていく環境にする
2	計画・ねらい	地域の方とのイベント開催
	実践予定内容	・地域の方に足を運んでもらい、子どもたちと体験を共にできる企画をたて、実践する

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	10人	11人	0人	0人	0人	27人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	6人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	0人	調理	0人	事務	0人
	用務	0人						

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 20分	コンピテンシー、人権チェック(年2回)、行事確認、園内研修、リスク管理、危機管理
給食運営会議	月1回	離乳食進捗共有、アレルギー児共有確認、食育計画
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・事故記録簿から起こりえるリスクの検証や防止策の検討
ケース会議	月1回 (対象児有の場合)	個別支援を要する子どもの情報共有、対応の検討
年間策定会議	年2回	次年度の保育計画作成、年間行事作成

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	コンピテンシー、業務報告、運営状況報告、ディスカッション
施設長勉強会	月1回	施設長研修、ディスカッション
食育会議	年4回	給食、食育に特化した研修・勉強会
保健会議	年4回	保健衛生に特化した研修・勉強会
子育ての質を上げる会議	月1回	施設代表者研修、ディスカッション

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	衛生管理点検表の確認、衛生的な園運営の確認
安全対策係	事故防止チェック・設備点検チェックの確認、安全推進管理
防火管理者	避難訓練の計画・通知・実施
食品衛生責任者	食材の保管・管理、調理室の衛生環境の保持
畑係	畑の管理、作物の栽培計画・保育実践
生き物係	生き物の飼育管理、保育への取り組み

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行、アンケートの取りまとめ
保護者参加行事係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行、アンケートの取りまとめ

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの欲求が十分に満たされ、安心して過ごせる環境の中で、特定の大人との信頼関係を築き、情緒の安定を図る 個々の発達が保証され、大切にされながら様々な経験をする 不快を感じた時も丁寧な関りから心地よさに変えていく 戸外活動を通して、自然に触れるなどの探索活動を楽しみながら様々な五感を育む
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや保育者など身近な人に興味を持ち積極的に関わろうとする 自分の気持ちや思いを表現できる 毎日の戸外活動では、探索活動を十分に行い、様々な物事に興味を示す 身の回りの事に興味を示し、意欲的に基本的な生活習慣を身につける
幼児保育	上半期 3～5歳児	対象児なし

	下半期 2～5歳児	対象児なし
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月11日と11月22日に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・ 2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	食事の環境を整える
	実践予定内容	・ 保育者と関りながら安心して楽しく食事がとれる環境にする ・ 子どもたちの発達の応じた導線を考え、都度見直しをしていく
2	計画・ねらい	自分で食べる意欲を育てる
	実践予定内容	・ 家庭との連携を適宜図りながら手づかみ食べを進め、自分で意欲的に食べることの基盤を身につけられるように離乳食から丁寧に関わっていく ・ 自分で食べたいものを選び、量を加減できるスタイルで提供し、意欲的に食べられるようにしていく
3	計画・ねらい	好きなものを増やす
	実践予定内容	・ 畑仕事を通し、作物の成長や収穫、調理して食べることを体験し、楽しみながら食への期待や意欲を育む ・ 好きな人と楽しく食べることで、苦手なものにも手を伸ばしてみようとする気持ちを育む

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・12月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回

スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い指導、歯磨き指導
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 5～10月頃・・・手足口病、ヘルパンギーナ 6～10月頃・・・アデノウイルス 11～6月頃・・・溶連菌感染症 11～5月頃・・・感染性胃腸炎（ノロウイルスなど） 12～3月頃・・・インフルエンザ 12～8月頃・・・水疱瘡
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・現在対象児無し（対象児発生時はマニュアルに則り対応）
エピペン使用できるスタッフ	本日現在6名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員については7月1日までに受講予定
AED使用できるスタッフ（AED設置施設のみ）	本日現在5名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員については7月1日までに受講予定
その他保健に関する取組	流行しやすい病気の掲示、予防接種の確認、薄着の励行、 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・ 手洗い指導を行う

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前

	検便・細菌検査	毎月1回/5日/全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 /保険証期限確認	年2回/4・10月
	身長体重測定	毎月1回/20日
	児童健康診断	内科健診 年2回/6・12月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回/4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回/園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	一人ひとりに合った経験の選択ができる環境を整える
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発達を捉えた玩具の選定や設置を常に意識する ・小さな子どもでも自分で手を伸ばして選び取れる室内環境作り ・園外保育の目的を持ち、子どもたちが様々な経験ができる環境作り
2	計画・ねらい	命をいただく気持ちを育む
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・魚に触れ、魚をさばく様子を体験し、調理して食す経験を重ねる ・移動保育で世話をする鶏の卵をいただき、命に触れる経験をする

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

対象遊具・家具の設置無し

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画に則った自衛消防組織を基に避難訓練（毎月1回）の実施 ・防災自主点検（年2回） ・日常点検の実施 ・災害発生時には、法人の災害時フローチャートに従う
2	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止チェック（年4回）の実施 ・設備点検チェック（年4回）の実施 ・事故防止委員会会議の実施 ・怪我発生時には法人の怪我発生時フローチャートに従う
3	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者侵入訓練（年2回）の実施 ・全職員笛の携帯 ・自治体や近隣園との不審者情報の共有 ・不審者侵入時には法人の不審者侵入対応フローチャートに従う
4	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・光化学スモッグの知識を身につけ、「光化学スモッグ注意報発令配信メ

		ール」に登録する ・光化学スモッグ発生時には行政指示や法人の光化学スモッグ発生時のフローチャートに従う
--	--	--

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

次世代育成の観点から、積極的に受け入れを行い、未来の姿に期待を持ちながら学習していく意欲を高める。

1	実践予定内容	次世代を担う保育者育成のために、依頼があった場合は積極的に行き入れ、保育者の仕事についての質問や疑問に丁寧に対応していく
2	実践予定内容	職員が思いやりとプロとしての意識をきちんと見せられるようにする。
3	実践予定内容	実習を終え、共に働きたいと思えるような実習生を増やす。

7. スタッフ育成と研修計画

新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> ■入社時オリエンテーション ■現場OJT研修 ■保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む) ■コンピテンシー研修 <p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■新入社員研修 → 会場研修 → 系列園保育実地研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■全社員研修 (年1回) ■園内研修 (月1回以上) ■保育スキル研修 (エリア別) ■リーダー養成研修 (9~2月) ■業務改善研修 (月1回) (=保育の質を上げる会議) ■施設長勉強会 (月1回) ■デンマークインターンシップ (年1回) ■コンピテンシー自己採点 (月1回) ■人権チェック (4月・10月) ■外部研修 ■上級救命救急資格取得講習 <p>←避難訓練研修</p>

〈1〉2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 人権について ③ 保育計画について	・人権チェック、法人の虐待行為について考える ・ハザードマップを確認しながら週案などに取り入れていく散歩の目的や目的地でできることの確認をする
5月24日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 接遇	・保護者のみならず、来訪者対応、電話対応など気持ちの良い接遇を考

施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士 大学講座および社 内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デモンクインテンシッ*	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

社会情勢に合わせ、最大限にできることに取り組み、子どもたちが社会性を学ぶ機会をできるだけ多く持てるようにしていく。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：北区赤羽公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	老人施設訪問、大学生との交流、その他地域施設との交流
異年齢交流	中高生職業体験の受け入れ
地域拠点活動	実習生、ボランティア、研修生の受け入れ

9. 小学校との連携の計画

対象児無しのため実施なし

地域の交流、異年齢交流としての関りや避難場所になっている小学校との緊急時の連携は引き続き行っていく。

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

個別計画を立て、保護者と共有しながら子どもの様子を見守るようにする。
他児も含めた育ち合いの視点を持ちながら、得意を伸ばし生きる力に変えていく援助を考える。

〈2〉毎月のケース会議開催

対象児が在籍の場合は月1回開催する。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

転園先にて引継ぎが必要な児童に対しては都度対応する。

1.1. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
子育てサロン	毎月1回土曜日開催10:00～11:00(内容により時間変動あり)
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育	月1回 公園名：北区赤羽公園にて開催

1.2. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

株式会社学研データサービスに依頼して受審予定

〈2〉園による自己評価の実施

2024年6月30日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時00分

自己評価終了予定時刻：13時00分

自己評価実施予定者：施設長、当日出勤職員1名

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1.3. 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が目の子どもたちに必要なことを感じ取り、発信、計画、実行していく力をつける ・園内の食育活動を地域へも発信し、共に活動していく機会を作る ・2歳児の転園（進級）を踏まえ、様々な施設の年長児と関りを持ち、保護者も子どもも安心して転園（進級）できる環境、体制を整える
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿から感じ取ったものを生かしていく点に課題は残るが、経験が浅く地方出身が大半の職員集団としては評価できる面も多かった。 ・子育てサロンの企画に離乳食や収穫物の調理などを取り入れ、自園の食育活動の紹介をする機会を設けた。家庭ではなかなか体験できないことに興味をもち参加された家庭も多く来年度も継続していきたい。 ・コロナ渦の規制緩和により地域との交流が盛んにできるのではないかと期待していたが、季節外れの感染症増加など例年のない状況下において、交流を懸念する施設が多く、思うような環境や体制を整えることができなかつた。情勢等をみながら来年度以降も引き続き行っていく

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	人が集う園 自分の役割を意識し、主体的に動ける職員集団となる。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・園見学、子育てサロンなどの来訪者数を伸ばすため、園を宣伝する ・子育て支援事業内容を充実させ、リピーターを増やす。 ・子どものために何ができるのかを話し合い、目指す方向性を全職員で共有し取り組むことが常態化する。 ・自分に必要なことを積極的に学び、学びを生かせるチームを作る。
2025年度	目指す姿	地域での評価が高く、地域交流が盛んな園 園の代表として保育を発信していける職員が増える。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・作り上げてきた地域とのつながりを絶やさず、共に行えるイベントなどの新たに試みを通じて地域との子育て実践をする。 ・自園や法人の保育について実践を交えた自分の言葉で伝えることができ、園案内やイベント時に園の代表として務められる人材を育成する。
2026年度	目指す姿	認証保育所としての役割が果たせる地域に認められた園
	重点施策	認証保育園としての役割が地域に浸透し、月極保育のみならず、一時預かり事業も活発化し、安心して預けられる園として地域に根を下ろす。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 赤羽ルーム 施設長 佐々木 俊彦